

2011.9.13 (ver.1)

植物科学最先端研究拠点ネットワーク「光合成特性用細胞操作イメージング解析拠点」
『高感度分光、深部、高速イメージング』支援について

名古屋大学

GCOE ライブイメージングセンター

仕様

LSM780-DUO-NLO (Zeiss) : 共焦点顕微鏡、共焦点高速イメージング、多光子顕微鏡の 3 つのシステムが統合された複合顕微鏡システムです。

	仕様一覧
レーザー	Blue Diode 405, Argon 458,488,514 DPSS 561, HeNe 633, Chameleon 780-1080 (多光子)
検出器	34Ch スペクトル検出器 (共焦点、多光子) (32Ch GaAsP 検出器+2Ch PMT) , 2Ch GaAsP NDD 検出器 (多光子)
対物レンズ	10 倍/NA 0.43 Plan-APOCHROMAT ドライ 20 倍/NA 0.8 Plan-APOCHROMAT ドライ 40 倍/NA 1.1 LD C-APOCHROMAT 水浸 40 倍/NA 1.4 Plan-APOCHROMAT 油浸 63 倍/NA 1.4 Plan-APOCHROMAT 油浸
その他特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 120 フレーム/秒 (512x512) の高速イメージング・ 高速ピエゾ Z フォーカス・ Definite Focus による固定フォーカス機能・ 最大で 10 の色素を同時に取得して分離・ フォトンカウンティング・ 電動ステージによる多点タイムラプス

<http://www.microimaging.zeiss.co.jp/> より「バイオサイエンス分野」→「レーザー顕微鏡 LSM780, LSM710 NLO, LSM7 LIVE/LSM7 DUO」をご参照ください。

利用する上での注意点

- ・ステージインキュベータを導入していますが、CO2 コントローラは設置しておりません。
- ・基本的に、依頼者のみでの使用をご遠慮いただきます。コーディネーターが常駐し操作等のアドバイスをさせていただきます。

利用の流れ

- ① 事前打ち合わせ（目的、対象、具体的な解析法、必要器具など）
- ② 申請書の提出、審査
- ③ 採択の連絡、日程調整
- ④ LSM780-DUO-NLO (Zeiss) を用いて解析
- ⑤ 画像解析ソフトウェア IMARIS (Bitplane) 等によるデータ解析
- ⑥ 解析データの受け渡し、論文化の相談など

参考文献

特になし

費用負担

基本利用情報に準じます。解析に必要な経費(試薬、スライドガラスなど)や、利用者の旅費・宿泊費等（学内宿泊施設あり）は、原則として依頼者が負担してください。

Authorship

成果発表の際には、事前に相談して下さい。また、Acknowledgments 等に以下の内容の記載をお願いいたします。

(例) This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.

支援開始の時期

平成 23 年 10 月 3 日（月）より支援開始の予定です。

連絡先

hamamura@bio.nagoya-u.ac.jp 052-789-2970 浜村有希

(GCOE ライブイメーシングセンター チーフコーディネーター)

higashi@bio.nagoya-u.ac.jp 052-747-6404 東山哲也

(名古屋大学 大学院理学研究科 教授)